

可燃ごみ 処理の流れ

パッカー車



①運ばれた可燃ごみは計量を行います。



②プラットフォームから「ごみピット」に可燃ごみを貯めます。



③投入した可燃ごみは「ごみクレーン」で集めます。



4月1日 新たなごみ焼却処理施設

クリーンヒル天山 誕生!

小城市と多久市が共同で建設・運営するごみ焼却処理施設「クリーンヒル天山」が、4月1日(水)から稼働します。
現在小城市で出た可燃ごみは、小城市廃棄物中継センターを経由し、一般財団法人佐賀県環境クリーン財団の中間処理施設「クリーンパークさが」(唐津市)で処理をしています。また、多久市の焼却処理施設は稼働から30年以上経過していて、老朽化が進んでいる状況です。
両市が共同で処理施設を建設し、可燃ごみの焼却処理を行うことで処理費用の削減にも繋がります。
今回の特集では、新設した「クリーンヒル天山」の紹介に加え、各家庭での可燃ごみの出し方や削減方法についてご紹介します。

施設概要

名称／クリーンヒル天山
所在地／多久市北多久町
大字小侍4644番地29
敷地面積／約19,000㎡



全国的に最も導入され、安定した処理設備である「全連続燃焼式ストーカ炉」を採用しています。
2つの炉で24時間焼却することで、1日最大57tの処理が可能です。
環境にも配慮し、ダイオキシンの発生を防ぐため炉内は850度以上で燃焼し続け、排ガスは何層ものフィルターを通過して煙突から出るのでクリーンです。

4月以降は施設の見学も受け付けます。見学通路からクレーンの操作をしているところやパッカー車からごみを落とす様子なども見れます。ぜひクリーンヒル天山にお越しください。

天山地区共同環境組合
ふなつきお 松津 公雄 事務局長



ごみの減量でコスト削減に取り組もう!

小城市の現状を知ろう!

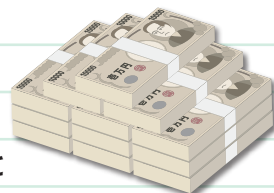
~その1gを削りだせ~

平成30年度の可燃ごみの量は **10,074 t**。



かかった処理費用はなんと

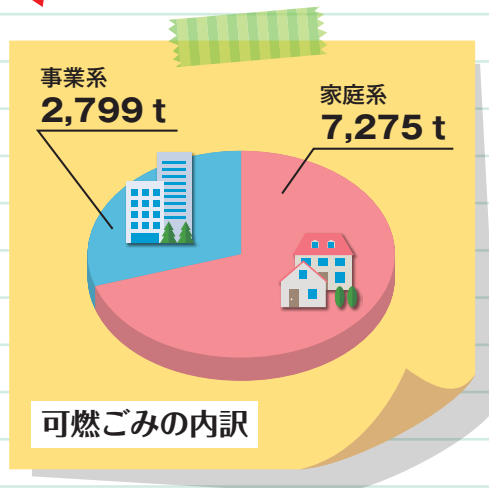
約3億1,500万円!



可燃ごみの
約7割は家庭から

出ています。

そこで、家庭からの可燃ごみを減らすためにできることをご紹介します!



可燃ごみを減らすためにできること **その1**

生ごみを減らす

①生ごみは水切りをする!

例として、ある1世帯が1日分の生ごみを水切りしたところ、150ccの水分が出ました。

それが毎日だとすると年間約55kgとなり、市内全体の16,797世帯(1月31日現在)から出る水分は、年間約923tにもなります。

この水分を切っていれば、平成30年度の処分費で計算してみると**約2,800万円の経費**が削減できるのです!



生ごみを捨てる前に、しっかりと水切りを!!

②食品ロスを減らす!

食材を買い過ぎて、食べ残しや使い切れずに捨ててしまうことはありませんか?

消費者庁の統計では、家庭から出される食品ロスの量は年間1人当たり約25kgで、小城市の人口でみると約1,130tとなり、約3,500万円の処理費がかかってしまいます。

<買い物や料理をするときのポイント>

- ・買い物に出掛ける前に、冷蔵庫を確認しよう。
- ・週に1回は「冷蔵庫一掃デー」(賞味、消費期限が近い食材を使い切る日)を設定しよう。
- ・家族の予定を把握し、必要な分だけ作ろう。



<食品の期限表示を正しく理解しましょう>

食品の期限表示は、「賞味期限」と「消費期限」の2種類があります。「賞味期限」は、おいしく食べることができる期限です。この期限を過ぎても、すぐに食べられないということではありません。

~おいしく、楽しく、食べきりましょう~

③たい肥にする

家庭からでる生ごみ1日1人当たり50gを、コンポストなどでたい肥化すると、小城市で年間約827tの減量となり、年間の処理料約2,500万円の経費が削減になります。

「家庭用生ごみ処理機器購入費補助金」を活用！

市ではごみ減量の取り組みとして、生ごみ処理機器を購入した場合、予算の範囲内で購入に係る費用の一部を補助しています。

対象者 市内に居住されている人・設置場所がある人。

- 補助金額**
- 家庭用生ごみ処理器（電動式以外）
購入価格の2分の1以内（上限3,000円）
 - 家庭用生ごみ処理機（電動式）
購入価格の2分の1以内（上限20,000円）

※1. 購入前に事前の申請が必要です。（見積書など） ※2. 1世帯1台限りの補助です。

家庭用生ごみ処理器（電動式以外）



コンポスト



生ごみ堆肥（減量）ボックス

家庭用生ごみ処理機（電動式）



電動式生ごみ処理機

可燃ごみを減らすためにできること その2

資源物として分別する

紙類は、第1水曜日の資源物収集に出してください。なにげなく可燃ごみに捨てているお菓子や食品の箱も資源物です。分別すれば資源として再利用できます。

紙類とは…

新聞紙・チラシ、段ボール、雑誌・本・雑紙・紙箱類、紙パックなど



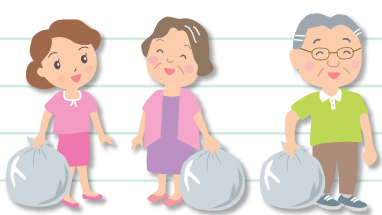
資源として、有効に再利用しましょう!!

雑紙は、封筒や紙袋に入れて出してください。

注意

臭いの強い紙・感熱紙・写真・金紙・銀紙・油紙・食品が付着した紙・セロハンテープなどは再利用できませんので可燃ごみに出してください。

紙類の収集日は第1水曜日です



できることから
始めましょう!!

